

天動説から地動説へ

マニュアルから施工計画書、適合性と共に 更なるパフォーマンス向上へ

— 2015年版・共通テキストにおけるISO MSの転換 —
(公共工事・業務向け)

インターテック審査員・営業部
上地 正和

0 はじめに

ISO9001・ISO14001:2015年版の移行期限を本年9月に控え、すでに多くのお客様が移行へのご対応をいただいているかと思いますが、この機会にシステム改革をしてみませんか。現在の運用内容を見直すきっかけにさせていただくためのポイントと期待できる効果についてご案内します。

1 事業プロセスとの統合

ISO共通テキスト(附属書SL):2015年版では、規格と事業プロセスとの統合を求めています。二重文書・記録の解消、業種・業界毎の固有用語の活用等により、ISOシステムの形骸化を防ぎ簡素化に繋がります。

2 ISO要求事項に合わせるのではなく、業務・工事施工管理内容に合わせる・統合する

実際の施工計画書・業務計画書などをISOと統合・運用と考えます。

(現在のままの施工計画書や業務計画書などで既にISOシステムと考える事ができます)

※参考例(右図):公共工事 施工(業務)計画書とISO要求事項とのつながり・対比

特集

2015年版規格では、パフォーマンスが重視され、より一層の有効活用が期待されます。今回の改訂を機に、有効活用に向けて、システムの見直し・再構築に取り組まれるお客様もいらっしゃるかと思います。システムのスリム化・効率化による本質的なシステム運用に向けての取組みについてご紹介します。効果的運用にお役立ていただければ幸いです。

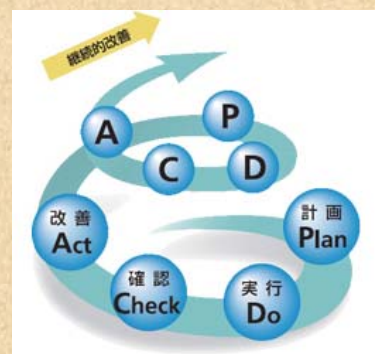
(編集部)

3 戦略性をもった取組み

実際の工事・業務文書・計画書内容が、文書化・プロセス改善・計画性・プロセス毎の戦略性や外部課題・内部課題へと繋がり、可能ならISOの要素を加えることで文書化・計画性、戦略性等が高められます。

4 PDCAでパフォーマンス向上が最大の目的・メリット

文書化されたそれぞれの施工計画書・業務計画書等の内容・プロセスを効果的に実施する事で、工期・業務の短縮、品質・安全・環境等の取組みの向上、顧客評価・工事成績評価点の向上につなげる。



5 ISO審査準備の軽減、体系化された日常業務が既に(Iso)マネジメントシステム

組織・経営プロセス(経営計画書)等による組織の状況を取り込めば、ISO審査の為の二重準備の最小化、又は要らなくなる事も可能でしょう!

この改訂を機に、外部審査の度に要求事項に振り回されず、必要な業務改善・目標達成に着目、本質的な組織マネジメント運用を進められる事を期待いたします。

公共工事施工(業務)計画書とISO 要求事項とのつながり・対比

施工計画書・・・ISO 9001:2015・ISO 14001:2015

赤:ISO9001 緑:ISO14001 青:両方

施工計画書 4.4 品質マネジメントシステム及びプロセスなど

- 1 工事概要:(工事名・工期・発注者・仕様・基準等)
8.2、7.5.3 工事に関連する要求事項(特記事項・設計図書・仕様書・基準・指針など)
- 2 計画工程表:(バーチャート工程表・工種毎工程管理)
4.4、8.1、8.5 品質マネジメントシステム及びプロセス・管理・提供など
- 3 現場組織表:(有資格者・役割分担等) 5.3 組織の役割、責任及び権限、7.2 力量、8.4 下請管理など
- 4 指定機械:(建設機械等):7.1.3 インフラストラクチャーなど
- 5 主要資材:(資材承認):8.5.2 識別及びトレーサビリティなど
- 6 施工方法:(工種毎の文書化、フロー化、仮設計画を含む)
4.4 品質マネジメントシステム及びプロセス、8.1 運用の計画及び管理、8.5.4 保存
8.5 製造及びサービスの提供、8.5.1 製造及びサービス提供の管理、8.5.3 顧客又は外部提供者の所有物
- 8 施工管理計画:(出来形・品質・写真等)
8.6 製品及びサービスのリリース、9.1 監視、測定、分析及び評価
9.1.3 分析及び評価、10.2 不適合及び是正処置(施工時の指摘・不適合など)
- 9 安全管理 7.3 認識、7.4 コミュニケーション、8.7 不適合なアウトプットの管理(苦情対応等)
10.2 不適合及び是正処置(安全パトロール)、9.2 内部監査(安全・環境パトロール)
- 10 緊急時の体制及び対応:8.2 緊急事態への準備及び対応・(安全・環境)
- 11 交通管理:6.1.4 取組みの計画策定 8.2 緊急事態への準備及び対応・(安全・環境)
- 12 環境対策:(近隣配慮・法令順守、振動騒音、排ガス、廃棄物、濁水処理等)
4.4 環境マネジメントシステム、6.1.2 環境側面、6.1.3、9.1.2 順守義務・評価
6.1.4 取組みの計画策定、6.2 環境目的及びそれを達成するための計画策定
6.2.1 環境目的を達成するための行動の計画策定、8.1 運用の計画及び管理
- 13 現場作業環境の整備 7.1.4 プロセスの運用に関する環境 8.1 運用の計画及び管理
- 14 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法 6.1.2 環境側面、8.1 運用の計画及び管理
- 15 その他 4.3 利害関係者のニーズ及び期待の理解(近隣・地域配慮、当局への届出:警察、労基署、保健所等)
6.1 リスク及び機会の取組み(現場特有のリスクなど) 7.5.3 文書化した情報の管理・(電子化手順など)

※上記のように、公共工事施工計画書は、ISO 要求事項が含まれており、今後もその文書化の改善、顧客・発注者から評価される施工計画書へ高め、パフォーマンス向上へと一体化も可能です。